

文教福祉常任委員会会議記録

日 時 令和4年11月8日(火曜日)

午前11時15分 開議

場 所 水戸市議会 第3委員会室

午後 零時 6分 散会

付託事件

議案第78号中別表中歳出中第3款及び第10款, 報告第66号中別表中歳出, 報告第67号中別表中歳出

1 本日の会議に付した事件

(1) 議案審査

- ① 議案第78号 令和4年度水戸市一般会計補正予算(第7号)中別表中歳出中第3款(民生費)及び第10款(教育費)
- ② 報告第66号 専決処分について(令和4年度水戸市一般会計補正予算(第5号))中別表中歳出
- ③ 報告第67号 専決処分について(令和4年度水戸市一般会計補正予算(第6号))中別表中歳出

2 出席委員(5名)

委員長	袴塚孝雄君	副委員長	森正慶君
委員	土田記代美君	委員	黒木勇君
委員	田口米蔵君		

3 欠席委員(1名)

委員 萩谷慎一君

4 委員外議員出席者(3名)

議員	滑川友理君	議員	中庭次男君
議員	松本勝久君		

5 説明のため出席した者の職, 氏名

副市長 秋葉宗志君

福祉部長兼福祉事務所長	横須賀好洋君	福祉部副部長兼福祉事務所副所長(福祉総務課長事務取扱)	田中誠一君
-------------	--------	-----------------------------	-------

福祉部福祉事務所参事兼福祉指導課長	大久保克哉君	生活福祉課長	櫻井学君
-------------------	--------	--------	------

障害福祉課長	平澤健一君	高齢福祉課長	小林かおり君
--------	-------	--------	--------

介護保険課長 高橋慎一君

こども部長兼 福祉事務所 担当所長	柴 崎 佳 子 君	こども部 福祉事務所参事兼 子育て支援課長	野 口 奈 津 子 君
こども政策課長	深 谷 貴 美 君	幼児保育課長	松 本 崇 君
保健医療部長	大 曾 根 明 子 君	保 健 医 療 部 副 部 長	小 林 秀 一 郎 君
保 健 所 長	土 井 幹 雄 君	保 健 医 療 部 保健所参事兼 保健総務課長	三 宅 陽 子 君
保 健 医 療 部 保健所技監兼 保健衛生課長	前 田 亨 君	地域保健課長	堀 江 博 之 君
保健予防課長	大 冨 要 之 君	国保年金課長	関 根 豊 君
教 育 長	志 田 晴 美 君	教 育 部 長	三 宅 修 君
教育委員会事務局 教育部参事	鴨 志 田 泰 君	教育委員会事務局 教育部参事兼 教育企画課長	菊 池 浩 康 君
教育委員会事務局 教育部参事兼 学校保健給食課長	小 川 佐 栄 子 君	教育委員会事務局 教育部参事兼 歴史文化財課長	小 川 邦 明 君
総合教育研究 所 長	春 原 孝 政 君	学校管理課長	細 谷 康 之 君
学校施設課長	和 田 英 嗣 君	生涯学習課長	湯 澤 康 一 君
中央図書館長	林 栄 一 君	教育研究課長	野 澤 昌 永 君

6 事務局職員出席者

議事課長補佐	綱 島 卓 也 君	書 記	檜 原 和 則 君
--------	-----------	-----	-----------

午前11時15分 開議

○袴塚委員長 引き続き御苦勞さまでございます。

定足数に達しておりますので、ただいまから文教福祉委員会を開会いたします。

議事に先立ちまして、_____のため欠席との連絡がございましたので、御報告をしたいと思います。

この際、お諮りいたします。委員長の互選に伴い、当委員会における着席の位置を、現在、御着席のとおりとさせていただきますと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○袴塚委員長 それでは、そのようにさせていただきます。

これより議事に入ります。

さきの本会議において、当委員会に付託されました案件は、議場で配付されました議案審査分担表のとおり、議案第78号ほか2件であります。

お諮りいたします。審査の進め方につきましては、初めに執行部に提出案件の説明を求め、次に質疑を行い、御意見等を伺った後、採決を行いたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○袴塚委員長 御異議なしと認め、そのように進めさせていただきます。

次に、お諮りいたします。この際、当委員会に付託となっております議案第78号ほか2件を一括議題といたしたいと思います。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○袴塚委員長 御異議なしと認め、一括議題といたします。

それでは、これより執行部から、順次、提出案件の説明を願います。

初めに、議案第78号 令和4年度水戸市一般会計補正予算（第7号）中別表中歳出中第3款（民生費）及び第10款（教育費）について、執行部から、順次、説明を願います。

それでは、平澤障害福祉課長。

○平澤障害福祉課長 それでは、議案書①、1ページをお開き願います。

市議会議案第78号 令和4年度水戸市一般会計補正予算（第7号）について御説明いたします。

内容につきましては、議案書②令和4年度補正予算に関する説明書により御説明をいたします。

議案書②の4、5ページをお開き願います。

3款民生費、1項社会福祉費、2目障害福祉費につきましては、障害福祉経費におきまして、物価高騰等の影響により運営費が上昇し、厳しい経営環境に置かれている訪問・通所系のサービスを実施している福祉事業所に対し、障害者福祉施設緊急支援金1,955万円を支給するため、増額補正を行うものでございます。

以上でございます。

○小林高齢福祉課長 続きまして、3目高齢福祉費でございます。

1つ目の丸の高齢者福祉施設経費及び2つ目の丸の介護保険推進経費につきましては、電気、燃料等の価

格高騰等の影響により運営費が上昇し、厳しい経営環境に置かれている訪問型、通所型等のサービスを実施している福祉事業所に対しまして、高齢者福祉施設緊急支援金として1,365万円を、また、介護サービス事業所緊急支援金として4,210万円を支給するため、増額補正するものでございます。

説明は以上でございます。

○松本幼児保育課長 続きます、2項児童福祉費、3目保育所費につきましては、価格高騰の影響により運営費が上昇し、厳しい経営環境に置かれている市内の民間保育所等に対しまして、民間保育所等緊急支援金として1,670万円、また、小規模保育事業所等緊急支援金として280万円、あわせて1,950万円を増額補正するものでございます。

○深谷子ども政策課長 続きます、4目放課後児童費につきましては、電気、燃料等の価格高騰の影響により運営費が上昇し、厳しい経営環境に置かれている市内の民間学童クラブに対しまして、民間学童クラブ緊急支援金として230万円を支給するため、増額補正するものでございます。

以上でございます。

○松本幼児保育課長 続きます、議案書②の6、7ページをお開き願います。

10款教育費、4項幼稚園費、3目私立幼稚園費につきましては、価格高騰の影響により運営費が上昇し、厳しい経営環境に置かれている市内の私立幼稚園等に対しまして、私立幼稚園等緊急支援金として330万円を増額補正するものでございます。

説明は以上でございます。

○袴塚委員長 次に、報告第66号 専決処分について（令和4年度水戸市一般会計補正予算（第5号））中別表中歳出について、執行部から御説明を願います。

三宅参事兼保健総務課長。

○三宅保健医療部保健所参事兼保健総務課長 それでは、議案書①の3ページをお開き願います。

報告第66号 専決処分について、御説明いたします。

地方自治法第179条第1項の規定に基づきまして、令和4年度水戸市一般会計補正予算（第5号）につきまして、議案書①4ページの別紙のとおり、9月30日付で処分いたしましたので、同条第3項の規定に基づき報告し、承認を求めるものでございます。

内容につきましては、議案書③、令和4年度補正予算に関する説明書の4ページ、5ページをお開き願います。

4款衛生費、1項保健所費、5目保健予防費につきましては、13億5,000万円を増額補正したもので、新型コロナウイルスワクチン接種経費といたしまして、12歳以上の方で2回以上ワクチン接種を行っている方を対象としたオミクロン株対応ワクチンの接種のほか、小児用ワクチンの3回目接種、生後6か月から4歳までの乳幼児用ワクチンの接種を実施していくため、医療機関への委託費のほか、コールセンターや集団接種、大規模接種会場の運営経費など、接種体制の確保等に要する経費を計上したものでございます。

説明は以上でございます。

○袴塚委員長 ありがとうございます。

次に、報告第67号 専決処分について（令和4年度水戸市一般会計補正予算（第6号））中別表中歳出

について、執行部から御説明を願います。

田中副部長兼福祉事務所副所長。

○田中福祉部副部長兼福祉事務所副部長（福祉総務課長事務取扱） それでは、議案書①、7ページをお開き願います。

報告第67号 専決処分について、御説明いたします。

地方自治法第179条第1項の規定に基づき、令和4年度水戸市一般会計補正予算（第6号）につきまして、議案書①8ページの別紙のとおり、令和4年10月17日付で処分いたしましたので、同条第3項の規定により報告し、承認を求めるものでございます。

内容につきましては、議案書③令和4年度補正予算に関する説明書10ページ、11ページをお開き願います。

歳出、3款民生費、1項社会福祉費、1目社会福祉総務費につきましては、市民税非課税世帯等緊急支援金経費におきまして、令和4年度分市民税非課税世帯及び令和4年1月以降に予期せず家計が急変し、市民税非課税世帯相当の水準に落ち込んだと認められる世帯に対し、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金として迅速に5万円を給付するため、17億3,900万円の増額補正を講じたものでございます。

説明は以上でございます。

○袴塚委員長 以上で、提出案件についての説明は全て終了いたしました。

これより順次、質疑を行います。

まず初めに、議案第78号 令和4年度水戸市一般会計補正予算（第7号）中別表中歳出中第3款（民生費）及び第10款（教育費）について、質疑のある方は、発言を願います。

田口委員。

○田口委員 緊急支援金ということで計上されていますけれども、まず初めに、電気、燃料等の高騰に向けての支援金ということでもありますけれども、支援金を出す中の全体を通して、この支援金を算出した根拠というか、どういうことでどのくらいの割合を支援しますよということなのか、説明いただければと。

○袴塚委員長 平澤障害福祉課長。

○平澤障害福祉課長 ただいまの田口委員の御質問にお答えいたします。

福祉サービスを実施しております事業所につきまして、令和4年4月から令和4年9月の間に、給付費等の額に応じまして、それぞれその規模に応じまして給付金を支給してまいる形でございます。

電気、燃料等の価格高騰の影響につきましては、あくまでも福祉事業所の給付費等の額に応じまして額を決定いたしまして、支給を行うものでございます。

以上でございます。

○袴塚委員長 給付費の何%という算出の仕方なの、そういうことですか。

○平澤障害福祉課長 特にパーセンテージを出したわけではございませんが、給付金の額に応じまして、それぞれの事業所500万円未満につきましては5万円、500万円以上3,000万円未満につきましては10万円、3,000万円以上の事業所につきましては15万円という額を決定させていただきまして、支給を実施してまいる形でございます。

以上でございます。

○袴塚委員長 そういう算出方法です。

○田口委員 そうすると、電気だとか燃料費が幾らかかったという細かい数字ではなくて、概算で決定しているわけですか。

○袴塚委員長 障害福祉課長。

○平澤障害福祉課長 ただいまの御質問にお答えいたします。

委員御指摘のとおり、事業所の規模に応じまして額を決定させていただきまして、給付を実施させていただく形になります。

以上でございます。

○袴塚委員長 田口委員。

○田口委員 そうすると、今は障害者施設等の社会福祉費でありましたけれども、ほかの民生費、あるいは教育費、これを皆さんどこも同じ考えの下で算出した数字になっていますか。

○袴塚委員長 それぞれ今回増額補正する金額の算出根拠は何なんだろうかということを田口委員はおっしゃられているので、これについて、こんなことで予算を積み上げましたよという説明をいただければありがたい。

小林高齢福祉課長。

○小林高齢福祉課長 ただいまの御質問についてお答えいたします。

高齢福祉費の高齢者、あと介護保険に係る事業所に対する緊急支援金につきましては、先ほど御説明がありました、障害者福祉施設と同様に、事業所のサービスの規模に応じてお支払いをするということで算出しております。

以上でございます。

○袴塚委員長 取りあえずそれぞれ、松本課長のところもあるよね。

松本幼児保育課長。

○松本幼児保育課長 2項児童福祉費、3目保育所費と、10款教育費、4項幼稚園費、3目私立幼稚園費につきましては、令和4年11月1日、今月1日における幼稚園の区分に応じて給付額のほう、内訳を算出しております。定員200人以上では30万円、20人以上200人未満で20万円、定員20人未満が10万円としております。積算に当たりましては、市立保育所の今年度の4月から9月までの実績と、昨年度の4月から9月までの実績の比較をいたしまして、今後10月以降、下半期に見込額というのを算出したものを参考にしております。

あと、規模の大きい施設につきましては、民間の施設も参考にしております。

以上でございます。

○袴塚委員長 それでは、深谷こども政策課長。

○深谷こども政策課長 御質問にお答えします。

民間学童クラブに対しましては、施設の規模や預かり時間などを考慮しまして、一律10万円といたしました。

以上でございます。

○袴塚委員長 以上のような積算根拠だそうです。大丈夫ですか。

[発言する者あり]

○袴塚委員長 今、議案第78号について。それ以外のものは後にしてください。

それでは、黒木委員。

○黒木委員 今、算出根拠とあったんですが、まず、障害福祉施設等、対象となる施設の数をそれぞれ教えていただきたいと思います。まず、障害福祉課。

○袴塚委員長 平澤障害福祉課長。

○平澤障害福祉課長 ただいまの御質問にお答えいたします。

障害福祉事業所につきましては、237件という事業所数でございます。

以上でございます。

○袴塚委員長 小林高齢福祉課長。

○小林高齢福祉課長 高齢福祉施設に関しましては、263件でございます。

○袴塚委員長 高橋介護保険課長。

○高橋介護保険課長 介護保険関係につきましては、525件になります。

以上でございます。

○袴塚委員長 松本幼児保育課長。

○松本幼児保育課長 民生費につきましては、民間保育所と小規模保育所等で119件、教育費につきましては、私立幼稚園等で14件、あわせて133件でございます。

○袴塚委員長 深谷こども政策課長。

○深谷こども政策課長 民間学童クラブにつきましては、23か所でございます。

○袴塚委員長 黒木委員。

○黒木委員 民間学童クラブなんですけど、今、23件ということでした。1か所10万円ということなんですけど、学童クラブの規模というのはほぼ一緒ということなんです。よく分からないですけども、少人数、例えば1桁台の人数の子どもを預かっている民間学童とか、数十人規模で預かっているとかそういう人数差というのは、ほかのところは人数差でやられていたんですが、その差というのはどういう状況なんでしょうか。

○袴塚委員長 深谷こども政策課長。

○深谷こども政策課長 お答えいたします。

放課後児童健全育成事業開始届出を提出している事業所さんが、1単位当たりで届出をされております。

○袴塚委員長 要は、子どもの多い、少ないとかそういうものの勘案の仕方というのは、今回はしなかったという、そういう答弁ですか。

○深谷こども政策課長 全て1単位での届出ですので、それに基づきまして一律としました。

○袴塚委員長 以上のようなものです。

黒木委員。

○黒木委員 今回一律ということですが、かなり多くの人数を預かっている学童さんというのも承知しておりまして、今回は電気、燃料等の価格高騰の影響で運営経費ということが主題になっておりますので、子どもが少なければスペースも小さいでしょうけれども、多くの子どもの預かっているところというのは、やっぱりそれだけ光熱費がかかっているはずなので、この辺を一律10万円という考えというのがちょっとよく分からないんですけれども、その辺はもう水戸市で一律10万円とやったんでしょうけれども、その辺の考え方というのを教えていただければ。

○袴塚委員長 人数とかそういうものが算定のときに勘案されなかったということですが、それについてどういうふうなこと、検討材料にはなったのかなど。検討しているとすれば、その辺の中身を教えていただきたい。

○深谷こども政策課長 お答えいたします。

今回は届出の単位数で検討させていただきまして、1人出席していても光熱水費はかかっておりますので、それで検討させていただきました。

○袴塚委員長 答弁の内容は、1人でも2人でも、100人でも200人でも、申し訳ないけれども1事業所幾らという、お店を開ければかかる経費という考え方をさせてもらったというようなことだよ。だからもし今後についての御意見等もあれば、次の意見集約のときにでもお話をいただければと思います。よろしくどうぞ。

次ありますか。

土田委員。

○土田委員 確認なんです、それぞれお金が届くスケジュールについて、いつぐらいに届くのか、どんな形で届くのか。

○袴塚委員長 これは、給付スケジュールはそれぞれの課で違うんですか、一緒ですか。違うんだったら、それぞれの課で答弁してください。

最初に、平澤障害福祉課長。

○平澤障害福祉課長 障害福祉サービス事業所につきましては、対象件数等を把握しておりますので、速やかに支給をしまいたいと考えております。

以上でございます。

○袴塚委員長 小林高齢福祉課長。

○小林高齢福祉課長 高齢福祉施設につきましても、対象のほうを把握しておりますので、速やかに支給を行えるようにしてまいりたいと思っております。

○袴塚委員長 ということは、皆さん同じ答弁ですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○袴塚委員長 同じ答弁だそうです。

○土田委員 速やかにというのは、例えば年内とか来月早々とか、どのくらいの速やかですか。

○袴塚委員長 今、予算審議をしているので、予算が通れば所定の手続を踏んで、できるだけ速やかに早く、年末までにやってくださいと、そういう御意見を後ほどまとめますから、出してください。それをお願いし

ます。

ほかにありますか。

○**土田委員** すみません、あと1つだけ確認なんですけれども、学童クラブの中身は分かったんですけども、放課後学級のほうは今民間に委託しているけれども、こちらの光熱費というのは市が出しているんですか。

○**袴塚委員長** 深谷こども政策課長。

○**深谷こども政策課長** ただいまの御質問にお答えします。

光熱水費等につきましては、水戸市のほうの予算で支出しております。

○**袴塚委員長** 敷地内であって、水戸市の電気を使っているからね。

それでは、ないようですので、議案第78号についての質疑は終わらせていただきます。

次に、報告第66号 専決処分について（令和4年度水戸市一般会計補正予算（第5号））中別表中歳出について、質疑のある方は御発言を願います。

田口委員。

○**田口委員** 66号では、オミクロン株対応ワクチンの件ですよ。この資料にもありますけれども、まず接種の対象者というところで、オミクロン株対応ワクチンが21万700人分、あとそれから小児と乳幼児とありますけれども、これは人口の中で、全人口というわけではなくて、抜けている部分というのはどういう年齢層なんですか。

○**袴塚委員長** 大図保健予防課長。

○**大図保健予防課長** ただいまの御質問にお答えさせていただきます。

オミクロン株対応ワクチンにつきましては、1、2回目を接種済の方の中で12歳以上の方ということになっておりますので、あと、ファイザーやモデルナによって対象年齢が違っているというところで、全人口ではないという形になります。

○**田口委員** そうすると、対象者が決定しているということでもありますけれども、自分のところにも接種券の予約申込みみたいなものが届きましたけれども、これは順次接種券が郵送されるわけですよ。それで、現在、接種券を発送した方々の、接種の予約というのはどのような状況になっていますか。それと、今現在大規模接種会場が始まったように聞いているわけですけども、その状況について。

○**袴塚委員長** じゃ、接種会場の状況がどうなっているのかと、接種券を発送した方々の予約申込み状況について、2点。

大図保健予防課長。

○**大図保健予防課長** ただいまの御質問にお答えさせていただきます。

まず、接種会場につきましては、個別接種会場として市内約55か所の医療機関で個別接種を行っております。また、集団接種会場としてミオスのほうで集団接種を行っております。見川の総合運動公園体育館のほうで大規模接種も開始しております。また、県のほうでも、県庁の福利厚生棟のほうで大規模接種を今開始しているような状況でございます。

接種状況でございますが、接種券をお配りさせていただいた約21万7,200人に対しまして、現在

11月7日時点の接種済としましては10.2%、予約を見込めるほうを含めると23.3%の方が予約済というような形になっております。

以上でございます。

○袴塚委員長 今の中で、ミオスは毎日、見川は違うんですね。それもあわせてお願いします。

○大図保健予防課長 ただいまの御質問にお答えさせていただきます。

ミオスの集団接種につきましては、月曜日から金曜日までという形でやっております。見川の体育館、大規模接種会場につきましては、土日に開催しているような状況でございます。

○袴塚委員長 ほかにありますか。

田口委員。

○田口委員 今、予約が10.2%……

[「接種済が10.2%」と呼ぶ者あり]

○田口委員 予約が23.3%、これはもう接種を可能な方、それとも、全員に郵送してあるんですか。その中で23.3%ですか。自分なんかは14日からの予約というふうになっていますけれども、予約をしてもいいよという期間内の人たちが23.3%ということですか。

○袴塚委員長 それでは、大図保健予防課長。

○大図保健予防課長 ただいまの御質問にお答えさせていただきます。

既に接種券のほうを送付させていただいている方につきましては、今回オミクロン株が3か月という計算になりますので、9月18日までに前回接種をしている方につきましては、接種券のほうを発送させていただいております。その接種券のほうを発送させていただいている中で、先ほどの率となっているような状況でございます。

○袴塚委員長 田口委員。

○田口委員 報道等でも3回目接種、4回目接種、それからこのオミクロン株対応ワクチンに対しての接種率というのは非常に割合が低いんだというようなのを聞いたような気がするんですけども、これらについては本市はどのような考えを持っているのか。多くの人に接種をしていただきたいですよね。以前と比べて接種したことの安心感はないでしょうけれども、前よりもちょっと緊張感が少なくなったような気がしないでもないですけども、接種に向けてどういう考え方を持っていますか。

○袴塚委員長 大図保健予防課長。

○大図保健予防課長 ただいまの御質問にお答えさせていただきます。

このオミクロン株対応ワクチンの接種につきましては、実はまさに接種率について、全国的にも今大きな問題になっているというところでございます。

新型コロナの感染状況としましては、まさに今が感染の上り坂に入ったと専門家のほうも言うておりまして、報道等でもやっていますように、茨城県内におきましても2週連続で感染者数が増になっているなど、感染の増加傾向が見られているところでございます。このオミクロン株対応ワクチンにつきましては、やはり感染をする前に打っていただきたい、早期接種をお願いしたいというのが、国または本市としての考えでもございまして、特に今冬におきましては、インフルエンザとの同時流行、こちらのほうも懸念されている

ような状況ですので、国も年内に希望する方全員に打たせたいということで、100万回接種というようなことを目標に掲げまして、接種体制のほうを組んでいるような状況です。

ただ、どうしても何回もワクチンを打ってきて、ちょっとワクチン疲れのような部分があるのと、やはり感染が1回落ち着いておりますので、落ち着いているときはいつもやはりなかなか打っていただけないというような状況でございます。

水戸市としても、今月周知のほうを強化しております、ホームページや広報紙はもちろんのこと、今、実は市内の各イベント等におきまして職員自らがチラシのほうを配らせていただいているような状況です。先週土日にも黄門まつりや、あと、イオンのほうで健康のイベントをやらせていただいたんですけども、そういった中で各種イベントに職員のほうが出向かせていただきまして、ワクチン接種の早期の完了に向けて皆様方をお願いをしているような状況でございます。

以上でございます。

○袴塚委員長 よろしいですか。

どうぞ。

○田口委員 最後ですけども、皆さんが理解してやっていただくというのが理想なんですけれども、4回目接種に入ったときも接種に協力してくれている病院の数がなんかえらい減ったような気がするんですけども、オミクロン株対応ワクチンになっての接種というのは、一覧表は届いていますけれども、全体的な数というのはどのように変化していますか。

○袴塚委員長 大図保健予防課長。

○大図保健予防課長 ただいまの御質問にお答えさせていただきます。

ワクチン接種の医療機関につきましては、実は逆に市のほうで打ちたいという医療機関を若干削っているというのが今現状でございます。といいますのも、もともと1、2回目接種の際には、130医療機関ぐらい、幅広く接種会場を設けさせていただいたんですが、どうしてもワクチン自体が無駄になってしまう。要は、1週間に何人かしか打たないような医療機関も出てきてしまいますので、そうしますとワクチンの効率性の部分でどうしても無駄がどんどん出てくるということになっております。

なので、今回のオミクロン株対応ワクチンにつきましては、週当たり100回ぐらい打っていただける医療機関を対象に個別接種を依頼しているというような状況でございます。

以上でございます。

○袴塚委員長 田口委員。

○田口委員 最後に、接種に協力している病院に対しては補助を出しますよね。これはどのようなものですか。

○袴塚委員長 大図保健予防課長。

○大図保健予防課長 ただいまの御質問にお答えさせていただきます。

接種協力医療機関への補助につきましては、1、2回目接種のときに出させていただいたところでございます。今回のオミクロン株対応ワクチンの接種につきましては、特に追加で補助を出しているような状況ではないというところでございます。

以上でございます。

○袴塚委員長 黒木委員。

○黒木委員 すみません、まずワクチンの供給量というのはどういう状況で、今のところ打つ方が若干少ないですけども、これからがと多くなっていくという予測の中でどれぐらいの状況か、まず教えていただきたい。

○袴塚委員長 大図保健予防課長。

○大図保健予防課長 ただいまの御質問にお答えさせていただきます。

ワクチンの供給量自体は、国のほうから年内に希望する全ての方が打てるようなワクチンの供給をいただけるということで、お話は伺っております。実際に今の段階におきましても、十分なワクチンの量が来ておりますので、ワクチンの量が足りないので接種ができないという状況はないというような形になります。

以上でございます。

○袴塚委員長 黒木委員。

○黒木委員 運営経費なんですけれども、コールセンター、大規模接種会場運営ということなんですけれども、これというのは業者さんに委託ということによろしいでしょうか。

○袴塚委員長 大図保健予防課長。

○大図保健予防課長 ただいまの御質問にお答えさせていただきます。

コールセンター、大規模接種会場につきましては、今までの1、2回目、3回目、4回目接種と同様に、業者委託とさせていただいております。

以上でございます。

○袴塚委員長 黒木委員。

○黒木委員 まず、来月の土日、見川の大規模接種会場に関しましては、予約状況を見ながら土日に運営していくかどうかという状況というふうにお聞きしているんですが、見川は来月は土日に運営していくことによろしいんですか、まだ決まっていないんですか。

○袴塚委員長 大図保健予防課長。

○大図保健予防課長 ただいまの御質問にお答えさせていただきます。

大規模接種につきましては、今月は土日に会場のほうを設置していきたいと考えているところです。ただ、1日の予約回数の上限を調整しながら、予約数に応じて効率的に対応したいと考えております。

12月以降の予約につきましては、今の予約状況をまた踏まえまして、後ほど決定させていただき、早めに周知のほうをさせていただければと思っているところでございます。

以上でございます。

○袴塚委員長 ほかにありますか。

それでは、ないようですので、報告第66号の質疑を終わらせていただきます。

次に、報告第67号 専決処分について（令和4年度水戸市一般会計補正予算（第6号））中別表中歳出について、質疑がある方は、発言を願います。

土田委員。

○土田委員 すみません、幾つかお聞きします。

まず、今回の非課税世帯、対象者が3万3,800世帯となっていますけれども、この内訳について、非課税世帯が何世帯で、家計急変世帯をどのくらい見込んでいるのか。数の内訳をお願いします。

○袴塚委員長 田中副部長兼福祉事務所副所長。

○田中福祉部副部長兼福祉事務所副所長（福祉総務課長事務取扱） ただいまの委員の御質問にお答えいたします。

今回の非課税世帯の給付金の対象の世帯の内訳でございますが、市民税非課税世帯で確認書を発行する対象の世帯数が3万3,200世帯、そして市民税非課税世帯で申請書による世帯としましては450世帯、そして家計急変世帯が150世帯となっております。

以上でございます。

○袴塚委員長 土田委員。

○土田委員 ありがとうございます。

そうすると、非課税世帯が前回よりもかなり増えちゃっているということなんですよ。

○袴塚委員長 田中副部長福祉事務所副所長。

○田中福祉部副部長兼福祉事務所副所長（福祉総務課長事務取扱） ただいまの御質問にお答えします。

今回非課税世帯ということで算出をしておりますが、こちらは非課税世帯全体の人数でございます、それ以外に非課税世帯の中に課税者の扶養に入っている方が、全員が世帯員、については対象外であったりとか、そういった形で除きますので、そういった人数の関係で数値が増えているというような状況でございます。

○袴塚委員長 土田委員。

○土田委員 ありがとうございます。

そうすると、あと、家計急変世帯はさっき議案質疑で中庭議員が言いましたけれども、前回見込んだ4,000世帯から150世帯にした、これは前回100世帯しか来なかったというところで実情にあわせてたということでしょうか。

○袴塚委員長 田中副部長兼福祉事務所副所長。

○田中福祉部副部長兼福祉事務所副所長（福祉総務課長事務取扱） ただいまの御質問にお答えいたします。

御指摘のとおり、こちらの家計急変につきましては、実績に応じて算出したものでございます。

○袴塚委員長 土田委員。

○土田委員 分かりました。

家計が急に大変になっちゃった世帯にも届くようにしてもらいたい。万が一、この150世帯を超える申請があった場合も届けられるようにはなっているのでしょうか。

○袴塚委員長 田中副部長兼福祉事務所副所長。

○田中福祉部副部長兼福祉事務所副所長（福祉総務課長事務取扱） ただいまの御質問にお答えいたします。

今回の算出、内訳ということで出している数字を超えるような場合についても、それは支給をしてまいりたいと考えております。

○袴塚委員長 いいですか。

○土田委員 はい。

○袴塚委員長 それでは、ほかにないようですので、報告第67号についての質疑を終わらせていただきます。

以上で、提出案件の質疑は全て終了いたしました。

それでは、これより各案件について御意見を伺いながら、採決に入ってまいりたいと思います。

採決の方法は、挙手によりお願いいたします。

それでは、議案第78号について、御意見がございましたら発言をお願いします。

黒木委員。

○黒木委員 先ほどもちょっと質問させていただいたんですが、民間学童クラブの緊急支援に関しまして、1か所当たり10万円ということでしたけれども、もう少し制度を人数に応じた形で段階的にやってもいいんじゃないかというふうに思いました。その辺は、今回は一律、1か所10万円ということですが、そういう制度的な部分でどうなのかなということが起きないように、ぜひとも丁寧な予算の配慮をお願いしたい。

○袴塚委員長 分かりました。

ほかにありますか。

土田委員。

○土田委員 議案第78号には賛成いたしますが、福祉サービス事業所の支援金につきましては、前回入所施設が対象になって、通所のほうも大変だからぜひという意見を言うところもありまして、これを出していただいてよかったと思うんですけども、速やかに支給していただけますよう要望いたしまして、賛成いたします。

○袴塚委員長 田口委員はよろしいですね。

それでは、ほかにないようですので、議案第78号について、採決いたします。

議案第78号中別表中歳出中第3款及び第10款について、原案のとおり可決することに賛成の方は、挙手願います。

[賛成者挙手]

○袴塚委員長 総員挙手であります。

よって、議案第78号は原案どおり可決すべきものと決しました。

次に、報告第66号について、御意見がございましたら発言願います。

田口委員。

○田口委員 質疑のときも申し上げましたが、ワクチンの接種率というのが今後の接種に関する影響を大きく左右するんじゃないかなというふうに感じておりますので、十分に周知徹底をしていただいて、また、第8波というような言葉も、ちらちら出てきているような感じもしますので、十分にそういう点を留意しながら接種率向上に向けて努力していただきたいとだけ言っておきます。

○袴塚委員長 ほかにございますか。

黒木委員。

○黒木委員 対象者が非常に多岐にわたっている、それぞれの方で何回目の接種かという非常に難しい段階に入ってきていると思います。2回目を打ちに来たという人もいらっしゃるでしょうし、今回の小児用、また、乳幼児用というワクチンも含めて、接種の運営体制が非常に難しくなっていると思いますので、ぜひ無事故での実施をお願いしたいと思います。

また、見川の会場の12月の大規模接種につきましては、早めに決定していただきたいというふうに思います。私も家族の分を、インターネットで取っていたら、12月がすこんと空いていまして、あれ、12月はどこも打てないみたいな状況が見えたので、できましたら早めをお願いしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○袴塚委員長 ほかにありますか。

ないようですので、報告第66号について採決いたします。

報告第66号中別表中歳出について、承認することに賛成の方は、挙手を願います。

[賛成者挙手]

○袴塚委員長 総員挙手であります。

よって、報告第66号は承認すべきものと決しました。

次に、報告第67号について、御意見がございましたら御発言を願います。

土田委員。

○土田委員 報告第67号は賛成いたしますが、意見として申し上げます。

申請が必要な家計急変世帯の方、対象になる方が取りこぼしなく申請できるように一層努力をしていただきたいというのが1点と、あと、先ほどの議案質疑の中で、前回の確認書を送って戻ってこなかった方について、宛先不明とかお断りになったというのは分かるんだけど、それ以外の理由不明で戻らなかった方が1,800件あったということで、それぞれ理由があるのかと思いますけれども、ここもしっかりと送って戻ってこなくてもらい損ねる人がいないように、大変だと思いますけれども、努力していただきたいと意見を述べまして、賛成いたします。

○袴塚委員長 ほかにございますか。

黒木委員。

○黒木委員 5万円の給付ということですが、支援を受けられるべき世帯の方が、市民税非課税世帯と同程度の水準に落ち込んだと認められる世帯に、我が家はなるのかならないのかという部分というのは、今年に入ってから家計の状況によってそれぞれであり、前回とは違いますので、どうか取りこぼしが無い、支援を受けられるべき世帯が確実に手続にたどり着けると、行えるというような情報の提供と丁寧な対応をお願いしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○袴塚委員長 ほかにありますか。

田口委員。

○田口委員 それぞれ、黒木委員からもありましたけれども、丁寧な説明ということ。支援金をもらうには、あくまでも行政のほうが、あなたはもらいますか、どうのこうのじゃなくて、支援金を受ける側が自己申告

をしなくちゃならないですよ、こういう支援制度ってね。それなので申請しやすい書類の形というのがすごく大切で、高齢になればなるほど結構な部数があったりなんかすると、手続が難しくなるので、分かりやすくして、簡単に記入できるような形について少し考えながらやっていただければなとちょっと思ったものですから、意見として。

○袴塚委員長 それでは、ほかにないようですので、報告第67号について、採決いたします。

報告第67号中別表中歳出について、承認することに賛成の方は、挙手願います。

〔賛成者挙手〕

○袴塚委員長 総員挙手であります。

よって、報告第67号は承認すべきものと決しました。

以上をもちまして、当委員会に付託されました議案第78号ほか2件についての審査は全て終了いたしました。

この際、本会議における委員会報告書について、お諮りいたします。委員会報告書の作成につきましては、正副委員長に御一任願いたいと存じますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○袴塚委員長 異議なしと認め、そのようにさせていただきます。

今、新型コロナウイルス感染症の第8波が始まる傾向がございます。それから、冬に向けてインフルエンザの流行も大変懸念しておりますので、今月10日の委員会の際に土井保健所長には、その辺について、お時間を差し上げたいと思いますので、委員会の皆様方に御説明をいただければというふうに思いますので、お願いをいたします。

それでは、以上をもちまして、本日の文教福祉委員会を散会いたします。

御苦労さまでした。

午後 零時 6分 散会